



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月18日

上場会社名 **ゼット株式会社** 上場取引所 大証二部
 コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 渡辺 泰男
 問合せ先責任者 役職名 常務取締役管理統括本部長 氏名 池下 正憲 TEL (06) 6779-1171

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	30,928	△3.6	472	59.1	519	56.7	△59	—
19年3月期第3四半期	32,070	△3.8	296	△52.2	331	△48.2	46	△76.4
19年3月期	43,024		958		1,000		515	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	△2	95	—	—
19年3月期第3四半期	2	31	—	—
19年3月期	25	72	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	23,550		9,850		41.8	491	43	
19年3月期第3四半期	23,894		9,684		40.5	482	96	
19年3月期	23,641		10,106		42.7	504	00	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	1,675		△403		△641		3,427	
19年3月期第3四半期	1,011		△79		△402		3,490	
19年3月期	595		△225		△534		2,797	

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	42,700	△0.8	670	△30.1	710	△29.0	△50	—	△2	49

業績予想につきましては、現時点においては、平成19年11月15日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

3. その他

- | | | |
|---|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | : | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : | 有 |

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

***業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、原油・原材料価格の高騰による企業収益の圧迫が懸念されるなか、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安等もあり、景気の減速感が高まっております。

当スポーツ用品業界におきましては、少子化の影響等による個人消費の低迷が続き、競争は益々激化しております。

このような状況の中で当社グループは、「革新」をスローガンに①自社品の拡充、②外商・スクール、アスレマーケットへの対応強化、③ライフスタイルマーケットへの対応強化、④ボディケアマーケットへの対応強化、⑤コスト競争力の強化を課題に取り組み、業績向上に努めました。

事業部門別においては、ウィンター関連の苦戦があったものの、アパレル、フットウェアは、ユーザーに対するライフスタイル提案が受け、又登山関連の商品の動きが良かったことにより堅調に推移しましたが、卸部門、製造部門、その他部門は、流通構造の変化、競争激化、天候不順の影響等により低調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期の売上高は30,928百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は472百万円（同59.1%増）、経常利益は519百万円（同56.7%増）、四半期純損失は、特別損失として役員退職慰労引当金過年度分相当額330百万円を計上したことにより、59百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、23,550百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加630百万円、受取手形及び売掛金の減少1,608百万円、棚卸資産の増加1,138百万円、有形固定資産の減少50百万円、投資その他の資産の減少186百万円等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ165百万円増加し、13,699百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の減少等により流動負債が63百万円減少し、役員退職慰労引当金の増加等により固定負債が228百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、四半期純損失の計上により9,850百万円となり、自己資本比率は41.8%となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、営業活動の結果得られた資金は、1,675百万円となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少1,608百万円、仕入債務の増加1,315百万円であり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加1,138百万円等であります。

投資活動の結果使用した資金は、403百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出438百万円等によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、641百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出599百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期(平成20年1月1日～平成20年3月31日)については、原油価格の高止まりや米国サブプライムローン問題による世界経済の減速感の影響を受け、事業環境は益々厳しい状況になるものと思われませんが、通期の連結業績予想については、第3四半期まで概ね計画通りに推移していることから、現時点においては、平成19年11月15日の中間決算発表時に公表した予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

①棚卸資産については、実地棚卸は行わず、帳簿棚卸残高によっております。

②引当金の計上基準、その他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

平成19年度法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち、償却可能限度額まで償却が終了しているものについては、その残存簿価を5年間で均等償却しております。この変更に伴う影響額は軽微であります。

(役員退職慰労引当金)

従来、役員退職慰労金は支出時の費用として処理しておりましたが、改正後の「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第42号）を適用し、内規に基づく期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたしました。

この変更により、当第3四半期連結会計期間発生額22百万円は販売費及び一般管理費に、過年度対応額330百万円は特別損失に計上しております。この結果、従来と同一の方法に比べ、営業利益及び経常利益はそれぞれ22百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は352百万円減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(資産の部)								
I 流動資産								
現金及び預金	3,490		3,427		△ 62		2,797	
受取手形及び売掛金	9,933		9,251		△ 681		10,859	
棚卸資産	3,306		3,739		432		2,600	
繰延税金資産	223		187		△ 36		254	
その他	186		205		18		151	
貸倒引当金	△ 19		△ 16		3		△ 19	
流動資産合計	17,120	71.6	16,794	71.3	△ 326	△ 1.9	16,643	70.4
II 固定資産								
有形固定資産	4,243	17.8	4,475	19.0	232	5.5	4,526	19.2
無形固定資産	33	0.1	33	0.1	△ 0	△ 0.2	33	0.1
投資その他の資産	2,475	10.4	2,232	9.5	△ 243	△ 9.8	2,418	10.2
固定資産合計	6,753	28.3	6,741	28.6	△ 11	△ 0.2	6,978	29.5
III 繰延資産								
開業費	20		14		△ 6		18	
繰延資産合計	20	0.1	14	0.1	△ 6	△ 30.8	18	0.1
資産合計	23,894	100.0	23,550	100.0	△ 343	△ 1.4	23,641	100.0
(負債の部)								
I 流動負債								
支払手形及び買掛金	10,065		10,119		54		8,804	
短期借入金	1,200		670		△ 529		1,136	
未払法人税等	20		53		33		204	
未払消費税等	35		16		△ 18		52	
その他	845		662		△ 182		1,388	
流動負債合計	12,166	50.9	11,523	48.9	△ 643	△ 5.3	11,586	49.0
II 固定負債								
長期借入金	756		654		△ 562		688	
繰延税金負債	235		194		418		205	
退職給付引当金	387		290		△ 96		385	
役員退職慰労引当金	—		352		352		—	
その他	663		684		20		669	
固定負債合計	2,043	8.6	2,176	9.3	133	6.5	1,948	8.3
負債合計	14,209	59.5	13,699	58.2	△ 509	△ 3.6	13,534	57.3
(純資産の部)								
I 株主資本								
資本金	1,005	4.2	1,005	4.3	—		1,005	4.3
資本剰余金	2,968	12.4	2,968	12.6	—		2,968	12.6
利益剰余金	5,181	21.7	5,451	23.1	269		5,650	23.9
自己株式	△ 11	△ 0.0	△ 13	△ 0.1	△ 2		△ 11	△ 0.1
株主資本合計	9,144	38.3	9,412	39.9	267	2.9	9,613	40.7
II 評価・換算差額等								
その他有価証券 評価差額金	539	2.2	437	1.9	△ 101		492	2.0
繰延ヘッジ損益	1	0.0	0	0.0	△ 0		0	0.0
評価・換算差額等合計	540	2.2	438	1.9	△ 102	△ 18.9	492	2.0
純資産合計	9,684	40.5	9,850	41.8	165	1.7	10,106	42.7
負債・純資産合計	23,894	100.0	23,550	100.0	△ 343	△ 1.4	23,641	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売 上 高	百万円 32,070	% 100.0	百万円 30,928	% 100.0	百万円 △ 1,141	% △ 3.6	百万円 43,024	% 100.0
II 売 上 原 価	25,362	79.1	24,141	78.1	△ 1,220	△ 4.8	33,649	78.2
売 上 総 利 益	6,708	20.9	6,786	21.9	78	1.2	9,375	21.8
III 販売費及び一般管理費	6,411	20.0	6,314	20.4	△ 97	△ 1.5	8,416	19.6
営 業 利 益	296	0.9	472	1.5	175	59.1	958	2.2
IV 営業外収益	84	0.3	97	0.3	12	14.9	112	0.3
V 営業外費用	49	0.2	50	0.1	0	0.3	69	0.2
経 常 利 益	331	1.0	519	1.7	188	56.7	1,000	2.3
VI 特 別 利 益	9	0.0	90	0.2	80	859.3	12	0.0
貸倒引当金戻入額	9		7		△ 2		12	
適格退職年金制度終了益	—		83		83		—	
VII 特 別 損 失	37	0.1	352	1.1	315	841.8	95	0.2
固定資産売却損	3		—		△ 3		3	
固定資産除却損	0		0		0		52	
投資有価証券評価損	0		10		9		5	
役員退職慰労金	33		11		△ 21		33	
過年度役員退職慰労引当金繰入額	—		330		330		—	
税金等調整前四半期 (当期)純利益	303	0.9	257	0.8	△ 46	△15.2	917	2.1
法人税、住民税及び事業税	170	0.5	213	0.7	43		344	0.8
法人税等調整額	87	0.3	102	0.3	15		57	0.1
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	46	0.1	△ 59	△ 0.2	△ 105	—	515	1.2

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		303	257	917
減価償却費		127	150	179
退職給付引当金の減少額	△	9	94	11
役員退職慰労引当金の増加額		—	352	—
受取利息及び受取配当金	△	14	19	16
支払利息		20	19	30
売上債権の減少額		2,025	1,608	1,099
棚卸資産の増加額(△)・減少額	△	552	1,138	153
仕入債務の増加額・減少額(△)	△	219	1,315	1,379
未払消費税等の増加額・減少額(△)	△	15	36	1
役員賞与の支払額	△	29	—	29
その他	△	72	380	208
小計		1,564	2,034	1,153
利息及び配当金の受取額		14	19	16
利息の支払額	△	20	19	30
法人税等の支払額	△	546	358	544
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,011	1,675	595
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	50	438	175
投資有価証券の取得による支出	△	3	15	22
貸付けによる支出	△	125	11	130
貸付金の回収による収入		6	62	7
その他		94	—	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	79	403	225
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		—	△ 100	—
長期借入れによる収入		100	200	100
長期借入金の返済による支出	△	360	△ 599	△ 492
配当金の支払額	△	139	△ 139	△ 140
その他	△	1	△ 1	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	402	△ 641	△ 534
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額・減少額(△)		529	630	△ 164
VI 現金及び現金同等物期首残高		2,961	2,797	2,961
VII 現金及び現金同等物四半期末(期末)残高		3,490	3,427	2,797

(4) 部門別売上高

(単位：百万円未満切り捨て)

事業部門の名称	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減	(参考)前期 (平成19年3月期)
	百万円	百万円	百万円	百万円
卸売部門	30,443	29,311	△1,131	40,849
製造部門	361	348	△ 13	509
小売部門	874	891	17	1,141
その他部門	390	376	△ 14	524
合計	32,070	30,928	△1,141	43,024